

■日本テクノプラス株式会社

案件名称：「人工呼吸器などの警報アラームに連動したナースコール自動伝送システム」

案件概要：既設のナースコールシステムを利用し、汎用性があり、安価な警報通知システムを実現した。通常、警報は、人工呼吸器等の電気信号を変換して伝送されるが、今回開発したシステムは、アラーム音やアラームランプ点滅だけでも、警報信号に変換することができ、旧式のものも含め、種々の型式の人工呼吸器等にも対応可能。

連携先：りんくう総合医療センター

これまでの経緯：本件のニーズは、2003年度のフォーラム第1回目に泉佐野病院 救急救命センターの臨床技師の辻 章子氏が発表された。

小型で技術的に難しいところはないので、共同開発でなく1社が担当することになり、小回りがきく、ということで同社とのマッチングが成立した。

事業化年度：2004年

